

令和7年度 東京都立永福学園 学校経営報告

令和7年度の学校経営計画達成状況について以下のとおり報告します。

1 今年度の重点目標

- (1) 人権尊重の精神に基づく教育活動の徹底
- (2) 児童・生徒の安全・安心を最優先にした教育活動の充実
- (3) キャリア教育の一層の推進と充実
- (4) タブレット端末、デジタル教材等の一層の活用
- (5) 働き方改革の一層の促進

2 今年度の取組目標の数値等結果)

- 【標語】 A：目標値等の100%以上 B：目標値等の85%～99%
C：目標値等の70%～84% D：目標値等の70%未満

(1) 人権を尊重した教育の徹底

| 番号 | 取組目標 | 数値目標等 | 評価 |
|----|--------------------------------|-------------|----|
| ① | 人権尊重及び生活年齢に即した呼称と指導、丁寧な言葉遣いの徹底 | 満足度90%以上 | A |
| ② | 体罰及び不適切な指導の根絶、いじめ未然防止の徹底 | 体罰0、いじめ0 | B |
| ③ | 個人情報の適正な管理の徹底 | 個人情報に関する事故0 | A |
| ④ | 道德教育の視点を明確に位置付けた指導の推進 | 重大事故0 | B |
| ⑤ | ハラスメント防止の徹底 | ハラスメント0 | A |
| ⑥ | 人権に関する定期的な研修の実施 | 3回/年 | A |

(2) 学習指導（自立活動を含む）の充実

| | | | |
|---------|---|----------|---|
| ① | 保護者の方との共通理解を深めた個別指導計画の作成及び個に応じた指導の充実 | 満足度90%以上 | A |
| ② | 各教科等でのタブレット端末等のICT機器活用を通じた授業の推進 | 満足度90%以上 | B |
| ③ 肢体 | 自立活動の目標及び具体的指導内容の適切な設定と保護者説明の実施 | 満足度90%以上 | B |
| ④ 就技 | 各教科等におけるSDGsに関する指導の充実 | 満足度90%以上 | C |
| ⑤ 就技 | 職業に関する専門教科での確実な知識・技能等の習得と職業及び社会人・職業人としての意識の向上 | 満足度90%以上 | A |
| ⑥ 就技 | 各教科等の予習や復習等の自宅学習の習慣化を通じた学習指導の充実 | 満足度90%以上 | C |

(3) 進路指導の充実

| | | | |
|---------|--|-----------|---|
| ① | 進路指導等の充実及び全生徒の進路希望の実現 | 進路実現100% | B |
| ② | 教育活動全体を通じたキャリア教育の推進と充実 | 満足度90%以上 | B |
| ③ | 保護者に対する進路指導に関する学習会等の実施による情報提供の充実 | 満足度90%以上 | B |
| ④ | 移行支援計画に基づく卒業後1年目の支援実施及び保護者等の求めに応じた支援会議等の実施 | 実施100% | A |
| ⑤ 就技 | 生徒の希望する職種等での現場実習等の実施 | 希望達成率100% | B |

| | | | |
|---------|---------------------------------|----------|---|
| ⑥ 就技 | 進路学習及び現場実習を踏まえた（個別の）進路相談の計画的な実施 | 一人2回以上/年 | A |
|---------|---------------------------------|----------|---|

(4) 生活指導の充実

| | | | |
|---|--------------------------------|------------------|---|
| ① | いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底と計画的な研修実施 | 3回以上/年 | B |
| ② | 高等部HRでの「SOSの出し方に関する指導」の実施 | 2回/年 | A |
| ③ | 防災教育推進会議の検討内容を踏まえた避難訓練等の計画的な実施 | 合同避難訓練 11回/年 | A |
| ④ | SNS東京ルールを踏まえた適切な活用のための指導の充実 | 高等部HR 1回/月。トラブル0 | B |
| ⑤ | 教育活動全体を通じた挨拶及び返事に関する指導の推進 | 研修・自己診断等の実施3回/年 | B |
| ⑥ | 表彰制度を活用した学習・活動意欲の向上及び規範意識の向上 | 表彰規定該当者延べ200人以上 | A |

(5) 特別活動・その他

| | | | |
|---------|---------------------------------|---------------------|---|
| ① | 特別活動を通じた社会性や豊かな人間性を育む指導と安全指導の実施 | 重大事故0 | A |
| ② | 自己肯定感及び自己有用感を高める社会貢献活動の実施 | 全校で40回/年 | A |
| ③ | 図書コーナーを有効活用した読書活動の推進 | 2000冊以上/年 満足度90% | B |
| ④ | 文化・芸術等を通じた両部門の校内交流の促進 | 満足度90%以上 | C |
| ⑤ | 児童・生徒一人一人に応じた係活動、役割分担等の位置付け | 一人一役 | A |
| ⑥ 就技 | 各種委員会及び部活動の全員参加と自発的・自主的な活動の推進 | 満足度90%以上 | C |

(6) 安全・安心、健康・体力づくり

| | | | |
|---|---------------------------------|----------------|---|
| ① | 保護者・地域と連携した防災・防犯対策及び訓練の実施 | 各1回/年 | A |
| ② | 教育環境整備と安全管理の徹底 | 事故0 | A |
| ③ | アレルギー対応訓練、AED講習・救命救急訓練等実施 | 各1回以上/年 事故0 | A |
| ④ | 医療的ケアに関する事故の未然防止と緊急時の対応力向上 | 研修2回、事故0 | A |
| ⑤ | スクールバス、医療的ケア専用車両の安全かつ円滑な運行 | 事故0 | A |
| ⑥ | ヒヤリハット事例の積極的な蓄積と共有を通じた事故未然防止の徹底 | 事故0 | A |

(7) 広報、地域交流、地域支援等

| | | | |
|---------|--|--------------------|---|
| ① | ホームページの内容充実と積極的な情報発信 | 満足度90%以上 | B |
| ② | 地域交流・学校間交流及び社会貢献活動等の地域と連携した教育の充実 | 全校で40回以上/年 | A |
| ③ 肢体 | 副籍制度による交流及び共同学習等の実施 | 希望者全員実施 | A |
| ④ 就技 | 高等学校における発達障害教育等の支援の強化 | 各校2回/年 | A |
| ⑤ 就技 | 関係教育委員会及び特別支援学校等と連携した募集活動の実施 | 応募倍率 1.2倍以上 | A |
| ⑥ 就技 | 各種説明会（学科説明会等）の充実と中学校及び保護者等への情報提供（個別相談等）の実施 | 入学者選考の個別説明200件以上/年 | A |

(8) 学校運営・組織体制

| | | | |
|---|-----------------------------|----------------------|---|
| ① | 服務事故防止研修、職員会議等による服務規律の徹底 | 事故0 | A |
| ② | 定時退庁日、学校閉庁日の設定等による超過勤務時間の削減 | 平均超過勤務時間 25時間以下/月 | B |

| | | | |
|---|---------------------------------|--------------------|---|
| ③ | 初任教職員へのメンター導入を通じた育成環境整備 | 初任者満足度 90%以上 | A |
| ④ | クリーンデスクと適切な個人情報管理徹底のための環境整備日の設定 | 週1回、月1回 個人情報事故0 | A |
| ⑤ | 教員系職員と行政系職員との連携を通じた円滑な学校運営 | 事故0 | A |
| ⑥ | 適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底（一需センター契約） | センター契約 60% | B |

3 本年度のまとめと令和8年度に向けた方針

(1) 人権を尊重した教育の徹底

肯定的評価は、両教育部門も90%以上でした。引き続き、人権を尊重した教育活動を図ります。「非常に肯定的」の評価割合が高まるよう努めます。

(2) 学習指導（個に応じた指導の充実）

肯定的評価は、両教育部門も90%以上でした。面談等を通し、より一層共通理解を図り、個に応じた指導の充実に努めます。

(3) 学習指導（タブレット端末等のICTの活用）

肯定的評価は、肢体不自由教育部門72%、就業技術科85%でした。一層の効果的な活用と活用状況の分かりやすい情報発信を図ります。

(4) 進路指導（キャリア教育の充実）

肯定的評価は、肢体不自由教育部門66%、就業技術科88%でした。特に、肢体不自由教育部門は「判断できない」が17%でした。キャリア教育の一層の推進と分かりやすい情報発信に努めます。

(5) 特別活動（学校行事）

肯定的評価は、肢体不自由教育部門85%、就業技術科88%でした。行事の目標を明確にするとともに、社会性や豊かな人間性を育むような内容の工夫を図ることが課題です。

(6) 安全・安心（防災・防犯対策）

肯定的評価は、肢体不自由教育部門63%、就業技術科70%でした。保護者の方や地域との連携を深めた実施の工夫や、「判断できない」を減じるような工夫した情報発信を図ることが課題です。

4 令和8年度の学校経営の重点及び方針

令和7年度の学校評価等の結果を踏まえ、以下の重点目標を継続・充実していきます。

(1) 人権を尊重した教育の徹底

- ・人権尊重、生活年齢に即した呼称、丁寧な言葉遣いと丁寧な指導の徹底
- ・個人情報の適正な管理の徹底
- ・道徳教育の視点を位置付けた指導の推進と充実

(2) 児童・生徒の安心・安全を第一にした教育活動の充実

- ・保護者の方、地域と連携した防災・防犯対策及び訓練の実施
- ・アレルギー訓練、AED講習・救命救急訓練等実施、医療的ケアに関する事故防止徹底
- ・ヒヤリハット事例の積極的な蓄積と共有を通じた事故未然防止徹底

(3) キャリア教育の一層の推進と充実

- ・教育活動全体を通じたキャリア教育の充実とキャリア教育に関する情報発信の推進
- ・進路指導の充実及び全生徒の進路希望の実現
- ・保護者の方への進路指導に関する学習会等の実施及び進路情報提供の充実

(4) 児童・生徒のタブレット端末やデジタル教材等の一層の活用

- ・タブレット端末やデジタル教材・デジタル機器の活用を通じた授業の推進
- ・ICT機器を活用した授業等に関する活用状況の情報発信の推進
- ・ICT機器活用に関する実践的な研修の充実

(5) 職員室の環境整備及び働き方改革の一層の促進

- ・職員室の未来型オフィスへの円滑な移行と働き方改革の促進

- No 会議 day と完全定時退庁日の位置付け
- 学校閉庁日の7日間設定